

(別紙4(2))

事業所名 グループホームあじさい「ほてい」

目標達成計画

作成日: 令和 5年 3月 29日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	経験年数の少ない(当事業所が初めて)スタッフが多いため、認知症の理解等が低く、誤った対応をしてしまう場面が見られる。	全スタッフが正しい介護技術や認知症についての知識を身につけ、場面にあった対応ができるようになる。	月1回のユニット会議にて勉強会を行い、知識の研鑽に努める。また、法人内の基礎研修受講率を上げることにより、知識・技術の習得を目指す。	6ヶ月
2	26	現場のケアにケアプランが十分に活かされていない。	スタッフ一人一人がプラン内容を理解し、プランに沿ったケアができるようになる。	利用者様お一人にスタッフ一人が「ケース担当」として付き、「ケース担当者」を中心にプランの浸透を図る。また、モニタリング時にノート等を活用して全スタッフの意見を反映し、皆がプラン作成に参加しているという意識を持てるように努める。	6ヶ月
3	35	避難訓練は火災、地震、水害を想定して年間各二回ずつ定期的に行われているが、コロナ禍の影響もあり消防署や地域との協力体制は十分ではない。	消防署や地域等との連携を図り、災害時は地区の消防団や近隣住民等と協力して対応できるように努める。	避難訓練については引き続き定期的に行い、意識の向上に努める。消防署、地域との連携については、運営推進会議の場を活用し、今後の協力体制を検討する。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。